

神奈川県知事  
黒岩 祐治様

2020年2月17日  
日本共産党神奈川県議会議員団  
団 長 井坂 新哉



## 新型コロナウイルスによる肺炎対策の抜本的強化を求める申し入れ

新型コロナウイルスによる肺炎は、国内でも人から人への感染が報告され、水際対策だけでなく、抜本的な感染拡大防止対策の強化が求められていました。

しかし、国内で初めて県内の80代の女性が、新型コロナウイルスによる肺炎で死亡しました。さらに、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」での感染者を搬送した救急隊員が感染したことも明らかにされました。この間、感染者は県内だけでなく、北海道、千葉県、東京都、愛知県、三重県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、沖縄県と相次いでいます。とくに和歌山県では、院内感染が原因と報告されています。

政府は16日、現在の状況と必要な対策を議論する専門家会議の第1回会合を開催している。その会議の終了後、加藤厚生労働大臣は、「患者が増加する局面を想定した対策を今から取るべきだ」と国民に呼びかけています。さらに、患者を受け入れる医療機関を拡大することも表明されています。

これ以上の感染を防ぎ、県民の命を守るための抜本的対策を求め、以下の事項について緊急に申し入れるものです。

### 記

- 1、発熱しているなど感染の不安を感じている人が医療機関で受診する前に、相談センターに電話し指示を受けるよう、県民に広く知らせること。相談センターを増やすこと。
- 2、新型コロナウイルスの検査体制を抜本的に強化するため、神奈川県衛生研究所の人員や体制強化を図り、他県や民間との連携も強めること。そして、検査対象者を拡大すること
- 3、病院や診療所等で肺炎の症状が出ている患者がいた場合、早期に診断し隔離や治療などの態勢を確立すること。
- 4、感染者を受け入れる病院等について、院内で感染者が拡大しないよう、必要な措置を講じること。
- 5、保健所の体制強化や相談機能の強化を図るとともに、保健所を管轄する他の自治体とも連携して県民の予防措置を強めること。
- 6、県内観光業や中小企業への影響を調査・把握し、融資や助成を初めとした支援策を国に強く要望すると共に県も強化すること。

以上